

会 議 録				
平成25年度第7回 社会教育委員の会議	日 時	平成26年1月15日(水) 午前9時30分～11時10分	場 所	小金井市第二庁舎 8階801会議室
事務局	小金井市教育委員会生涯学習課			
出 席 者	委 員	中村議長、原嶋副議長 樋口、石田、樹、倉持、小山田、清水 各委員		
	その他	山本教育長 西田生涯学習部長		
	事務局	天野生涯学習課長、大関公民館長、上石図書館長補佐		
傍聴の可否	◎可 ・ 一部不可 ・ 不可		傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合の理由				
次 第				
1 教育長あいさつ				
2 協議事項				
(1) 第2次小金井市生涯学習推進計画の見直し(案)について				
(2) 第45回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会における分科会事例発表について				
(3) 平成26年度小委員会の構成員について				
(4) その他				
3 報告事項				
(1) 平成25年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育研修会について				
(2) 平成25年度第4回社会教育委員の会議小委員会の開催結果について				
(3) 小金井市立清里山荘の指定管理者候補者の選定結果について				
(4) 小金井市総合体育館及び小金井市栗山公園健康運動センターの指定管理者候補者の選定結果について				
(5) 小金井市社会教育委員の設置に関する条例の改正について				
(6) 平成26年成人の日記念行事について				
(7) 第26回多摩郷土誌フェアの開催について				
(8) 第10回野川駅伝の開催について				
(9) 一般社団法人全国社会教育委員連合平成25年度第2回総会議事録について				
(10) その他				
会 議 結 果				
(天野生涯学習課長) 皆さん、おはよう。新年第1回目の会議ということである。本年もよろしく願います。定刻となったので、始めさせていただきます。				

## 1 教育長あいさつ

(西田生涯学習部長) それでは、教育委員会の人事があったので、冒頭、私のほうから発言をさせていただき、次第1の部分まで進めさせていただきたいと思う。

平成25年10月末日付で津幡道夫前教育長が退任した後、12月の小金井市議会定例会において、新教育委員会委員として、山本修司氏が同意され、平成26年1月6日の教育委員会において教育長に任命された。また、あわせてご報告申し上げる。平成25年12月末日付をもって尾崎前国体推進担当課長が退職をした。これに伴い、1月1日から、私が生涯学習部長と兼務して、これまでの図書館長事務取扱とともに国体推進担当課長事務取扱を拝命しているので、よろしく願います。

それでは、次第のほうに移る。次第1になるが、本日は山本教育長に出席いただいているので、皆様にご挨拶をと存ずる。よろしく願います。

(山本教育長) おはよう。ただいま紹介いただいたが、1月6日付で、津幡教育長の後を受け教育長を拝命した山本修司と申す。どうぞよろしく願います。私は平成18年度から23年度まで5年間、小金井第一中学校の校長を務めさせていただいた。その折には何かと皆様にもお世話をいただき、ありがとう。私は、学校教育のほうばかりやってきたわけだが、退職した後、少し時間があるので、何をしようかなと思い、いろいろ考えたが、結局、今度、都知事選に出る細川さんではないが、今までやったことのない活動をしようと思っ、陶芸教室にちょっと通ってお茶碗をつくったり、初めてさわるアルトサックス、ちょっとかっこいいなと思っ、見たことも、さわったこともないのに、すぐに買いに行っ、そして音楽教室に通っ、ジャズなんかの練習をしたりとか、それから、また、せつかく今まで教育に関してさまざまな経験を積んできたので、それを整理して3年間の間に1年に1冊のペースで、出版社から頼まれて教育に関する本を刊行して、それなりに勉強してきた。結局、人生というのは、学校だけじゃなくて、生涯にわたって自分を豊かにするために、いろいろな趣味とか、学問とかの中に入っていっ、心も体も豊かにしていくということをつくづく思っ。私、この立場につくということでも早速、公民館と図書館の本館のほうを見学させていただいた。非常に古い施設なので、施設面では、これは早急に何とかしなきゃならないなと思っが、その活動内容については非常に充実しているなと思っ、分館も含めて、さらに小金井市の市民の方の文化・スポーツ、それから生涯にわたる各人の豊かな生活のために、小金井市の社会教育活動をさらに充実、振興させていかなければならない、これは大きな使命であると思っ次第である。委員の皆様には、大変ご多忙の中、お集まりいただい、小金井市の市民の文化活動のためにご協議いただい、そして、建設的な提言をいただい、ところであるが、私も前年度の報告書を読ませていただき、非常に重要な、そして大切な課題が提言されていると思っ読ませていただいた。ぜひ皆様のご意見を参考にして、今後の小金井市の社会教育の施策にできるだけ反映させていっ、さらに充実させていきたいと思っ。今後ともどうぞよろしく願います。私、民生委員の会議が次に入っ

いるので挨拶だけで失礼するが、どうぞよろしく願います。

(山本教育長退室)

(西田生涯学習部長) それでは、引き続き議事のほうをお願いする。

## 2 協議事項

### (1) 第2次小金井市生涯学習推進計画の見直し(案)について

(中村議長) 本年もよろしく願い申し上げます。それでは、年を明けた最初の会議ということで、第7回社会教育委員の会議を始めさせていただく。協議事項の1について、事務局のほうから願います。

(天野生涯学習課長) 協議に入る前に、まず資料の確認からさせていただきたいと思う。まず、1点目、こちらは協議事項1の資料となる。第2次生涯学習計画の見直しについてというものである。2点目、協議事項2の資料として、第45回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会における分科会事例発表についての依頼文である。次からは報告事項の資料になる。報告事項(3)の資料として、小金井市立清里山荘の指定管理者候補者の選定経過である。報告事項(4)の資料として、小金井市総合体育館及び栗山公園健康運動センターの指定管理者候補者の選定経過である。続いて報告事項(5)の資料として、小金井市社会教育委員の設置に関する条例の一部を改正する条例、報告事項(7)の資料として、多摩郷土誌フェアのチラシの写しである。続いて、報告事項(8)の資料であるが、こちらは個別の封筒に入っているものになる。黄金井倶楽部さんからの封筒、こちらは野川駅伝大会の開催のご案内になっている。報告事項(9)の資料として、一般社団法人全国社会教育連合平成25年第2回総会議事録である。最後に、委員の方のみに配付したものとして、1点目が社教連のニューズレター、2点目が青少健だより「花みずき」、3点目が東京都発行の「みんなの生涯学習」、4点目が「月刊こうみんかん」である。

資料のほうは以上だが、申しわけない、次第のほうに誤字があった。協議事項2の資料のところ、分科会の「分」が文化の「文」になっている。これは、正しくは「分ける」のほうの「分」になる。訂正をお願いする。資料の配付漏れ等、大丈夫だろうか。

それでは、協議事項1の資料説明をさせていただく。まず第2次生涯学習計画の見直しについてだが、事務局提案として、見直しの考え方としては、来年度以降、2年間かけて次期計画の策定に取り組むということがあるので、今回は必要最低限の見直しにとどめたいと思っている。先日の小委員会でも意見は出たところだが、根本的な見直しが必要な部分は、次期の計画の策定に生かしたいというのが事務局としての考えである。具体的に申し上げますと、現行計画の第1章から第3章までの部分はそのまま生かす形をとり、第4章の施策の展開の部分について、策定当時の直近のデータである平成18年・19年度の実績を、平成23・24年度のデータに書き改めたほうがいだろうというのが事務局の提案で、今回、資料で示した案は、過去の調査に基

づいて実績を入れ直したものになっている。それともう1点、方向性についてだが、こちらについても策定当初、推進とされていたもので、既に一定の推進がされて、現状はもう継続を目標としているというようなものがあったり、あるいはもう達成して、なくなっているような事業もあるので、その辺も改めたほうがいいだろうと思っている。大きくはその2点について見直したものが今回の事務局案となっている。それともう一つ、補足すると、こちらは過去に行った調査をもとに事務局で打ちかえたものになっている。転記ミスがあったりとか、あるいは現時点で担当課の考え方が変わったものなんかもあるかもしれないので、今、1月27日を期日として、全庁にこの内容で見直ししていかということで確認の依頼をかけている。その結果、内容については若干変わる可能性もあることはご了承いただいた上、本日、ご協議いただければと思う。説明は以上である。

(中村議長) では、この協議事項1に関連して、先般、小委員会で第2次小金井市生涯学習推進計画の見直しについて、かなり時間を割いて論議された。それについて、ご報告ということで、原嶋副議長のほうから小委員会の報告をお願いします。

(原嶋副議長) まず、小委員会とは何なのかということについて確認させていただいた。社会教育委員の定例的な会議があるのに対し、小委員会は作業部会のようなイメージであり、具体的なことを詰めていき、その結果を本会議で報告するということがあった。1月10日、9時半から約2時間開催した。中村議長以下、委員は5名、そして、天野課長が事務局として出席した。現行の推進計画の見直しと、次の小委員会の開催日が主な議題である。中村議長から、主に幾つかの脱字、誤字、あるいは表記の仕方について、訂正箇所があるということが指摘された。また、事業内容について、文章の表記の仕方がもう少しきちんとわかりやすくしたほうがいいのではないかとという提案もあった。2時間という長い時間協議したが、私の感想として、皆さんの知見を披露していただいたり、情報交換したりなどして、非常に勉強になったと思っている。協議を進めていく中で、何を柱として、どんな視点を持っていくべきか、いかに進めるのかを、今後確認していく必要があると思う。行政を評価することだと思っているので、これにはかなりの知見が求められるのではないかと思う。委員会できちんとコンセンサスを持っていかないと、ぶれてしまう部分もあると思うので、その辺はしっかり皆さんで話し合っただけで進めていかなくちゃいけないのかなと思っている。

次期計画の策定スケジュールについては、平成26・27年度の延伸期間中に、いろいろ取り組みながら進めていって、平成28年度に終わらせなくてはならない。パブリックコメントなどを考慮すると、1年半で評価なり、策定なりをしていかなくてはならないということで、非常にタイトなスケジュールで頑張らなくてはならないと思っている。

私からは以上である。何か補足があれば、参加された方からお願いしたい。

(中村議長) ありがとうございます。原嶋副議長以外で、小委員会のメンバーでご参加いただいた委員の方から補足等ないか。大丈夫か。今、原嶋副議長のほうから要点をかいつま

んでご報告いただいたが、この会議の報告事項2の平成25年度第4回社会教育委員の会議小委員会の開催結果については、これで済ませていただいたことにしたい。

あと、若干補足をさせていただくと、次期の計画策定時に検討するものということで、目標設定の仕方、事業内容等の書き方、例にすると数、例えば小・中学校の実施学校数とか公開謝礼といった表記になっているものを、もっと具体的な事業内容に即して表記する必要があると思っている。それから、実績の設定ということで、例えば人数等の数字だけにこだわらずに、内容まで精査していくことも必要だと思っている。

思うのだが、この資料を小委員会のメンバーの方については、大体目は通していただいていると思うが、それ以外の委員の方については、一度、この資料をじっくり読み込んでいただいたほうがいいのではないかと。

(天野生涯学習課長) 事前にメールでは一応お送りしていた。ただし、小委員会の変わったところがある。小委員会でいただいた意見をもとに右側にアスタリスクをつけさせていただいたのと、あと、皆さんにメールでお送りしたときには削除する事業というのを記載しない形になっていたが、そちらも小委員会で出た意見を参考にさせていただいて、見え消し表記に改めている。

(中村議長) 今、事務局がおっしゃった件だが、これは資料を見ていただけるか。例えば26ページだ。これの26ページの地域産業の振興ということで、掲載頁が49ページの「企業相談事業」というところが末線されている。右側に米印があるということは、当初の計画から変更した点があるということを示している。

(天野生涯学習課長) 右側にマークがついたものについては、一番最後につけたページに具体的な変更内容が一覧に示してある。

事務局のほうから、あわせて小委員会でいただいた宿題について、この場をおかりしてご報告してしまいたいと思うがよろしいか。

(中村議長) 願います。

(天野生涯学習課長) 指導室が担当の、いじめの関係である。9ページ、4の(1)のところ、方向性が今、継続という形になっている。これは過去の調査において担当から上がってきたのがこういう形だったが、小委員会の際に、いじめについては、「いじめのないまち 小金井宣言」というのをしているような状況を踏まえると、推進という形でもいいのではないかとというような提案をいただいている。最終的な判断は担当課でするにしても、担当課にその旨投げてほしいというようなご意見をいただいたので、こちらについては指導室のほうにお話をさせていただいている。それと、もう1点は、22ページの(2)大学の知的資源の地域社会への提供、ここで各種講座というのがある。これ以外にも、その上のところにも各種講座というものがあったり、単に講座といったものがあるが、これについて具体的にどんな事業なのかというお尋ねをいただいて、その際に私のほうで回答できなかったが、こちらは後ほど調べたところ、公民館でやっている成人大学という事業であった。この辺、具体的な名称がわからないようなところもあるが、それについては、第3次の計画を策定する際に、

どういう表記が一番ふさわしいのかということを考えていきたいと思っている。

事務局として考えているのは、個別の事業名にしてしまうと、かなり記載事項が増えていってしまう。したがって、ある程度のくくりがなければいけないとも思っているし、一方で、先日ご質問いただいたように、ぱっと見て何のことを指しているのかわからないというような状況でもあまりよくないのかなと思っている。その辺は、今回の見直しではこのままとさせていただいて、次回、第3次を策定する際に、またご協議させていただいて、反映させていきたいと考えている。以上である。

(中村議長) それから、あと、今後の見直しと策定のスケジュール的なものが資料としてあったね。それについて皆さんにご説明をいただいてもいいか。

(天野生涯学習課長) 本日の資料では配付していないが、平成25年度に第2次推進計画の見直しと評価を行い、平成26年度に素案を作成、平成27年度に本格的な策定というようなスケジュールをこれまでの会議でお示ししていたと思うが、現状として、これまでの小委員会の中では、3者での提言のまとめにかなり時間を要していた関係で、現行計画の評価、見直しにかかる時間がとれなかったということがあり、現時点では、もう残り1か月ぐらいの間にそれをしなければいけないというような形になっているので、今回は、必要最小限の見直しだけを平成25年度に行い、平成26年度に現行計画の評価を含め第3次計画の素案の作成に取りかかりたいということが、現時点での事務局の考えである。その辺を次の小委員会で検討して、その次の本会議、2月の会議のときに、皆さんにご提示できればと、今、事務局としては考えている。今回は、まだ小委員会で詳細を検討する前の段階だったので、資料としてはお配りしていないという状況である。

(中村議長) ありがとうございます。今、事務局のほうから説明があったが、その辺のスケジュールを踏まえながら、今後、会議のほうをさせていただくということになる。

皆さんどうか。お手元の資料のほうは、読み込みはしていただいているか。それで、読み込んでいただいたら、当然疑問点とか、こうしたらいいんじゃないかという修正の案がおありだと思うので、もしそのあたり読み込んでいただいた中で、今、各委員のほうからご意見があれば、この文言、誤字、脱字、あるいは表記の仕方等について、ご意見があればということだ。ただ、見直しの考え方としては、延伸期間にかかわっては必要最小限の見直しにとどめるということがポイントだ。抜本的な見直しが必要な部分については、次期の計画策定に生かすということであるということだけ踏まえていただければと思う。皆さん、ご意見等はいかがか。

(倉持委員) いろいろちょっと思い出してきたので。

(中村議長) どうぞ。

(倉持委員) 小委員会に出たときの話を少しずつ思い出してきた。そもそもこの2年間の延伸で、修正、見直し、今回、表が出ているが、これをするかどうかということも、小委員会では少し議論した。というのも、最初のご説明があったように、現行の第2次の生涯学習推進計画は平成21年度から平成25年度までの計画で、次の長期

総合計画と計画期間を合わせるために空白の2年間があいてしまう。次の総合計画と同じ平成28年度からにするために、平成26年度、平成27年度というのがあいてしまうので、それを整えるために今の第2次計画を2年延ばして7年間にして、次の5年をやりとうという話になったが、今の計画を評価して、次の新しい計画を立てていくとなると、あまり変えちゃうといけないのではないかと、評価の基準がずれちゃうのではないかと、例えば今回、一覧表を見ていただくと、既に廃止している事業とか、方向性が推進だったのが継続になる事業とかというのが出てきているが、つくられた時点と評価する時点と少し変わってきてしまって、どういうふうにしようかというような議論があった。そうやって議論していく中で、矢印で表している、推進とか、継続とか、これは誰が決めているのかという話にもなったりしたが、さっき事務局から説明があったように、ベースとしては、行政の部署の担当課が実態にあわせて、推進だったり、拡充だったりというのを決めている。なので、さっき議長から、例えばもっとうこういう事業は小金井市では大事だから、右上、斜め上とか、上とかなんじやないかという議論になったとしても、担当で基本的には判断するという構造になっている。それに加えて、もう既に終わった事業なんかもあるので、その点をさっきおっしゃった最低限というのは事実ベースで少し見直して、最低限見ていこうということになったが、何をどう変えたかがわかるように、さっきの新しくつくられた表ではマークをつけて、あるいは既に終わった事業でも見え消しにしておいて、評価のときに生かせるようにしようというような議論になった。そういう目で見えていくと、今の第2次生涯学習推進計画の評価が、1つは大事になってくるので、それが大変だと副議長がおっしゃっていたところだが、評価をしながら、次の第3次計画をどういうふうに立てていくかということのを平成26年度にやって、平成27年度に新しい計画を実際に考えていくということになるのではないかと小委員会ではぼんやりと話してはいるが、そういう目で見えていくと、例えば実績なんかも、参加者の市民の人数を書いているところもあれば、やったか、やらないかということを書いているところもあれば、派遣された職員の人数が書いてあるところもあったりとか、事業内容等のところも、事業内容を具体的に書いてあるところもあれば、さっき言ったみたいに、講座などというような、各種講座と書いてあるところもあったりして、私たちや市民がわかりやすい表記もそうだが、筋道みたいなものを検討していく必要があるのではないかとというような疑問をラフにだが、小委員会ではした。幾つかそうやってラフに話していく時間が1年ぐらい、評価しつつ、次の方向性を探していく時間がありそうだということになって、そうすると、第2次推進計画のいろいろ、あらというか、こういうところを直したほうがいいのではないかみたいなものも少し見えてくるようなこともあるねというのもあったので、この会議で皆様にいろいろとお気づきの点を言っていただくと、今後、少し見直し期間が延びたというか、余裕があるので、そこで丁寧に吟味することができるんじゃないかというような話し合いをしている。今回はそんなに根本的に直すという方針ではないが、今気づいたことをきちんと記録しておいて、次年

度、現行計画の評価、あるいは次の計画をつくるところに生かしていけたらいいなどという議論をした。

(中村議長) 今、倉持委員のほうから、結構基本的な考え方についてよくご説明いただいたと思うが、今回の見直し版の方向性というのは、市役所の各担当課の判断でやって、実際の予算状況等に基づいたものになっているということだ。小金井の計画については、これからどうしたいというような夢を盛り込むよりも、よりリアリティーなものとしてつくられていると。現実的に事業ベースでつくられているということだと思っている。次期の計画策定時には、夢を語るものでいくか、あるいは現実路線で行くかも含めて協議していくということが、小委員会で話し合われた。それから、あと、ちょっと皆さんに、方向性のところで、45ページを見ていただきたい。この資料を読み解く上で大事だと思うが、45ページの下のところ、1の下のところ施策の内容、表の方向性の見方ということで、矢印が上へ上がっていたり、斜め上に上がっていたり、横に行っていたり、あるいは検討となっている。上に上がっている矢印については拡充ということで、人員、規模、回数などを拡大していく事業ということで、これは予算を伴うものだという事である。その事業に対して拡充というのは、つまり予算がよりつくということだと理解した。あと、斜め上については、推進ということで、内容や質についてより一層の充実を図る事業ということで、これは充実を図る事業であるけれども、新たな予算はつかないというふうに理解した。

(天野生涯学習課長) 若干補足すると、予算がつく、つかないというところよりは、もうちょっと具体的に言うと、担当課として、予算を要求する方向でもう固まっているというようなどころを含めて、実際には、そこがつく、つかない、最終的にそこから先にまた判断が変わる可能性もあるが、担当課の方向性として、予算を増やしてでも推進したいという方向で考えているような事業だと理解してほしい。

(中村議長) 上向きの矢印のことだね。

(天野生涯学習課長) はい。

(中村議長) ということだそうだ。それから、あと、右横については、継続ということで、これまでと同様に実施していく事業。検討というのは、内容を見直し、実施や方法等を検討していく事業。この矢印の説明に基づいて資料を読み解いていただければということだ。

(原嶋副議長) 個人的に言うならば、皆さん、ここで深めようといってもなかなか無理だなど思うので、2月7日に第5回の小委員会があるから、今までの小委員会の方々の報告、話を含めてメールなり、ファクスなりで送っていただく方向でおさめたらどうか。

(中村議長) そうだね。今、原嶋副議長からいいご指摘をいただいたが、確かにこの場で議論することは、なかなか時間の制約もあり、できないと思うので、宿題ではないが、ご自宅のほうでよくこの資料を読み込んでいただいた上で、次回の小委員会が2月7日の9時半から始まるので、スケジュール的には今月末か2月7日までに、各



委員のほうで、この資料に対しての文言と字句の言い回しや方向性、あるいは表記の仕方等についてご意見をまとめていただいて、事務局宛てにメールでお送りいただく形ではどうか。

(天野生涯学習課長) 見直しについては、2月上旬に生涯学習推進検討委員会を予定していて、そこで最終的に諮って、オーケーが出れば2月18日の教育委員会で報告し、次に、3月7日に市議会のほうに行政報告というようなことを考えているので、本来であれば、この方向でいいかということについては今日、結論を出していただきたいのと、あと、細かいこと、文言の直しとかについては、2月上旬の時点では固めておきたいというのが事務局としての要望である。

(中村議長) とりあえず、この方向性でいいかどうかだね。

(天野生涯学習課長) はい。

(中村議長) ただ、今ちょっとすぐにというのはできない。

(天野生涯学習課長) 見直しの考え方についてだけでも決めていただけないか。

(中村議長) 考え方。今日、もう結論を出さないといけないのか、その見直しについて。

(天野生涯学習課長) 少なくとも、本会議としては、今日が最後にしていただきたいなということだが。生涯学習推進検討委員会のほうは今、2月4日を目標にしているが、その次の回でも間に合うので。そうすると、2月12日に検討委員会を開催しても時間的には間に合うので、最終的な結論は、次の小委員会であればまだ間に合う。

(中村議長) ということは、1月末までに各委員のほうからメールを送っていただくような形で大丈夫か。

(天野生涯学習課長) はい、それで大丈夫だ。ただし、メールで意見を寄せられて文言修正はできるが、結局この方向性でいいか、悪いかというのは、皆さん集まった場でないと結論が出ないのかなと思う。その辺もあったので、事務局の考えとしては、12月に開催通知を出させていただいたときにこの資料を送らせていただいたというところも考慮していただいて、考え方だけでも決めていただければと思う。

(中村議長) 方針だけでも、ということ。

(天野生涯学習課長) ええ。細かい文言修正は当然まだ間に合うので、要するに最小限の見直しで今回、いいだろうかと、その部分だけ結論を出していただければということである。

(中村議長) では、今、事務局のほうからあったように、文言の修正等は後でもできるということなので、基本的にたたき台として出していただいた考え方について、ご異議等はないか。もしなければ、この方向で行かせていただくということによいか。

(清水委員) こういう修正方法でということか。

(天野生涯学習課長) 簡単に言うと、この現行計画を生かして、第4章の部分、17ページ以降をこれに差しかえて、セットで2年間、使うというようなイメージである。

(清水委員) そういうやり方でいいかということか。

(天野生涯学習課長) このやり方でいいかというのが事務局の提案になる。

(原嶋副議長) 細かなことでなくて、大枠の中でどうかということでもいいね。

(天野生涯学習課長) はい。細かいことは、おっしゃるように、今日すぐには皆さん出ないと思う。

(中村議長) そういうやり方というか、その方向でよろしいかという意味で。

特にご異議なければ、要は、今おっしゃった冊子の17ページ以降を今回の会議資料の考え方で差しかえる。これは、基本はほとんど変わってない。

(天野生涯学習課長) 基本はそのまま2年間延伸をしたいという考え方だ。細かいところ、当然ご意見が出てくると思うが、先日の小委員会同様に、その辺は第3次計画に生かすために、細かく議事録にも残していき、小委員会で検討する際にも、それを踏まえて協議していきたいと思っている。

(中村議長) では、皆さん、ご異議なければ、このまま承認ということでよろしいか。

(「異議なし」の声あり)

(中村議長) あと、細かな文言等の修正等の必要があるとお考えになった委員からは、今月末までに事務局のほうに修正点をご報告いただくような形でよろしをお願いします。

では、ご承認いただいたということで、協議事項1は終わる

## (2) 第45回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会における分化会事例発表について

(中村議長) 協議事項2だ。では、事務局のほうからちょっとご説明いただいてよろしいか。第45回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会における分科会事例発表について。

(天野生涯学習課長) 今年度については、小山田委員と石田委員に、栃木県に行っていたが、その次の大会が今度、神奈川県で行われる。そのときに、分科会の中で事例発表をする市町村の募集である。具体的に東京都に割り当てられているのが4ページにある4番の社会教育施設のあり方で、これについて、もし事例があれば発表してほしいといった内容の依頼が来ている。これは必ずしも出さなければいけないというものではなくて、こういった事例のある市があるかということである。この点について、出す、出さないも含めて、今までは特段そういったものが具体的になかったので出していなかったというところになるが、今回どうするかというところでご協議いただきたいと思います。

(中村議長) この議題、討論に当たって、材料としては、あるにはあると思っている。例えばNPOで今進めている貫井北町センターのオープンというのが4月にあるわけだが、その事例発表ということはできなくはないが、ただし、今年度はかなりいろいろ、今の第2次小金井生涯学習推進計画の見直しとか、あと、ブロック研修会とか、その辺の準備もあつたりとか、かなりタイトなスケジュールだと思うので、この発表を受けてしまうとかなり忙殺されるということはあるので、これは私の個人的

考え方だが、特に今回については手を挙げずに行こうかなと思うが、ちょっと消極的な意見で恐縮だが、それで皆さんご意見がおありだったらお願いしたい。

(倉持委員) 貫井北町地域センターもこれから運営体制に入るわけで、何も実績がない中で今、手を挙げるわけにはいかないというのが現状ではないかなと思うので、私も議長のご意見に賛成する。

(中村議長) 皆さんご異議なければ、小金井市からは、発表はせずにということで決めたいと思う。よろしいか。ご異議ある方はいらっしゃるか。

(「異議なし」の声あり)

(中村議長) なければ、発表は、小金井市からは行わないということで回答するというので、事務局、よろしく願います。

### (3) 平成26年度小委員会の構成員について

(中村議長) 続いて、協議事項3、平成26年度小委員会の構成員について、事務局、願います。

(天野生涯学習課長) こちらも先日の小委員会で話題になったことだが、今回、9月に26期から27期に改選されて、そこで小委員会のメンバーも新たに選出させていただいたところだが、メンバーの変更をその期間中、どうするのかというところだ。例えば図書館協議会だとか、放課後子どもプラン運営委員会への出向といったものは年度初めに諮っていたのかなと思う。ただ、過去の4月の会議の議事録を見たが、小委員会のメンバーについては、少なくとも去年の4月の時点では変更なかったのかなと思っている。今後、どうしていくかということだが、年度でかえるのか、あるいは9月を境に2年間の任期なので、途中の1年たった9月ぐらいの時点でかえるという考え方もあるだろうし、あと、事務局の希望としては、ここから2年間かけて今期の計画の見直し、それから次期計画の策定ということをお委員会のほうで検討していただくということがあるので、任期中、27期中はもうこのメンバーでというほうがやりやすいのかなという思いは持っている。その辺は皆さんのお考えがいろいろとおありだと思うので、本日この場で、これは今日、結論を出さなくてもいいとは思いますが、メンバーをかえたほうがいいのか、あるいは2年間継続でもいいのかというところを検討していただければと思っている。

(西田生涯学習部長) ちょっと補足をさせていただくが、実は図書館協議会のほうで、第2次子ども読書活動推進計画というのも図書館のほうで持っているが、これも今、話題となっている第2次生涯学習推進計画と同じように、2年間延伸をして、28年度から新たな第3次の子ども読書活動推進計画を策定していく。これは基本的には小金井市の基本構想に合わせるという大前提もあるが、生涯学習に関連する分野として、やはり生涯学習の一環として図書館という位置づけもあるので、そういう整合性も図っていかうというような考え方もある。したがって、図書館協議会に出向をいただいている委員の方、当然いらっしゃるが、そういう意味では、途中で交代をされる

よりは、こちらのいわゆる第3次小金井市生涯学習計画の進捗に合わせて、そちらの第3次子ども読書活動推進計画も同じような目線で見れるのかなど、同じタイミングで改定を図っていくというところに相互の意思疎通が図れるというような意味でも、今、事務局が申し上げたような考え方がよろしいのかなどというようなことは、全体的なところからもちよっとあるということを確認させていただく。

(中村議長) ありがとうございます。小委員会の構成メンバーについては、今、事務局のほうからお話があったように、ほかの委員会、つまり、図書館協議会、あるいは放課後子どもプランの委員で出向していただいている委員さんとの関連もあるので、特にこの場でもし手を挙げたいという方がいらっしゃったら、それは別だが、基本的には継続の方向性で進めたいということはある。事務局のお考えもそうだが。特に、ただ、これはあくまでも私一人で決められるものでもないので、各委員で、例えば立候補で小委員会のメンバーになりたいという方がいらっしゃったら、それはそれで個人の意思は尊重したいと思う。

したがって、今もし立候補で小委員会のメンバーになりたいという方がいらっしゃったら、挙手いただければと思う。もしないようであれば、小委員会のほうは継続ということでさせていただきたいと思うが、いかがか。よろしいか。

(「継続」の声あり)

(中村議長) では、皆様のご意見で継続という意思確認がとれたので、小委員会のメンバーについては継続ということで、議長、副議長、それから小山田委員、倉持委員、本多委員ということでお願いします。

(天野生涯学習課長) 継続というのは、27期の任期中、ずっと継続ということでよろしいか。

(中村議長) はい。ということは2年間。去年の9月から起算して2年間ということで継続。出向される委員の方についても継続ということでよろしいか。

(「はい」の声あり)

(中村議長) とりあえず、一旦2年間は現状のままということで進めさせていただくので、ご了解いただければと思う。したがって、協議事項3については、これで終了である。

#### (4) その他

(中村議長) では、協議事項4、その他ということで、事務局からあるか。

(天野生涯学習課長) 事務局からは特段ない。

### 3 報告事項

(1) 平成25年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育研修会について

(中村議長) では、続いて、報告事項ということで、1、平成25年度東京都市町村

社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育研修会についてということで、これについては、ご参加いただいた委員の中で樋口委員のほうから、事前をお願いしているのでご報告をお願いします。

(樋口委員) 昨年(2019年)の12月7日の土曜日に、羽村市の生涯学習センターで、先ほど言われた交流大会・研修会があった。小金井市の社会教育委員からは6名、参加させていただいた。「我が町意識を次代に育む社会教育」というテーマで、会は2部構成で行われた。第1部は、挨拶、式典の後、9月下旬から11月下旬、各ブロックで、研修会が各会場で行われた、その実施報告が最初であり、私たちのブロックからは、調布市のグリーンホールで、迫真せまる演劇でいじめをテーマにしたものが報告された。他のブロックでは、例えば車人形を小・中学校や、サマースクールなどで行っている、という事例発表とか、講演会、実践事例報告などが実施報告の多くを占めていた。そして実施報告の後、意見交換や情報交換が他のブロックにおいては多くなされていた。続いて第2部では、文部科学省生涯学習政策局の社会教育課企画官、新木氏の基調講演があった。基調講演は、協働時代における社会教育委員への期待ということでのお話だったが、実際は社会教育委員の現状は、都道府県の97%以上に設置されているが、平成14年以降は、人数が半減しているというお話をされた。また、社会教育委員の職務の一つ目は、地域の社会教育に関する諸計画の企画立案であるが、会議の開催に関しては実態的には、都道府県、また市町村では、7割が年間3回以下の開催というお話もされていて、ちょっと少ないのではないかということであった。また、職務の二つ目は、教育委員会の諮問に対しての意見具申、職務の三つ目は、地域の課題解決などに必要な調査・研究ということであった。これらの職務に関しては、専門委員会や、小委員会を設置していないところが都道府県では63%もあり、市町村に至っては92%以上という実態が紹介された。各都道府県、市町村によっては社会教育委員の活動がなかなか厳しい地域もあるようだが、帰りのマイクロバスの中で天野課長が話されていたことであるが、小金井市は、この3点においてどれもきちんと活動をしているので、非常にほかのところと比べては活動が活発なのだとということが分かった。また、基調講演の最後に、社会教育委員の心構えを8点挙げられていたが、その中の三つ、地域の実情に詳しくなろうということ、まちの地域づくりやさまざまな活動、ボランティアにも積極的に参加しようということ、そして、住民に社会教育委員の活動をしっかりアピールしよう、積極的に発信しようということを特に強調されていた。最後にまとめとして、地域のどこに課題があるのかということ、社会教育委員がつかみ、地域の多様な人材をコーディネートし、そして、社会教育委員の活動を地域にしっかりと発信していこうというお話で結ばれていた。基調講演の最後、10グループに分かれて、基調講演でのお話や、自分たちが社会教育委員として活動していることなどを各グループで話し合い、それを最終的に代表者がまとめて発表、という流れになった。その発表の中では、先ほど言ったように、各市町村によっては社会教育委員の活動が激減している地域もあるなど、地域によって異なるさまざまな実情

の発表がなされていた。どのグループの発表でも、最終的には基調講演にあったように、地域の課題を見つけ、人材をコーディネートし、行動する社会教育委員の大切さを訴えられていた。私は、本当にこのような会に参加させていただき、大変勉強になった。PTAの代表として出向しているので、今後、PTA連合会の常務理事会などでも出向者の報告の場があるので、そのようなときに、私自身も社会教育委員は何をされているのか学んでいる途中ではあるが、こんなお話を伺った、こういうことをしている、といったことなどを発表して、PTAの皆さんに報告していきたいと感じた。以上である。

(中村議長) ありがとう。今、樋口委員からご報告があったが、一応今回、新しい委員の方が半数いらっしゃるので、今後のいろいろな研修会等の報告については輪番制で行わせていただくということなので、今まで何人か報告いただいたが、これまで報告していただいていない方にはこれから研修報告をしていただくが、心構えのほうをご準備いただければということをお願いしたいと思う。ありがとう。

(2) 平成25年度第4回社会教育委員の会議小委員会の開催結果について  
(協議事項(1)で報告済み)

(3) 小金井市立清里山荘の指定管理者候補者の選定結果について

(中村議長) 続いて、議題3だ。事務局、お願いします。

(天野生涯学習課長) それでは、報告事項3、小金井市立清里山荘の指定管理者候補者の選定結果について、ご報告をする。まず、今回、資料を簡単にまとめているが、詳細についてご説明する。今回、この資料では10月15日号の市報で募集ということになっているが、その前段で、10月8日に開催された第15回指定管理者選定委員会において、公募をすることについての審議をいただいている。同日付でそれを認める旨の答申をいただいて、それに基づいて、こちらの資料にあるとおり、市報10月15日号及び市ホームページで募集をしたということになっている。

その後、平成25年10月25日、13時から、現場の清里山荘で現場説明会を開催して、その時点では11者が参加をしている。その後、平成25年11月5日を期日として、電子メール、またはファクシミリで質問を受け付け、11月11日にホームページで回答したという状況である。平成25年11月12日から19日まで応募を受け付け、4者から申請を受け付けている。その後、平成25年12月3日、応募4者について書類選考を実施し、上位3者について合格としたという状況である。最終的な審査が平成25年12月18日に行われ、3者の中で応募書類の補足説明を15分、それから質疑応答を20分という形でプレゼンテーションを行っている。その結果として、四角の枠の中の3行目にあるが、株式会社旺栄というところが総合評価第1位ということで選定をされている。これは現状の指定管理者とは違うところに今回なっている。ただ、こちらはまだ候補者としての選定結果なので、実際にはこの後、

2月18日の教育委員会でご審議いただき、その後、3月の市議会に議案として出させていただきます、可決されて初めて最終的に決定するというような流れになる。

(4) 小金井市総合体育館及び小金井市栗山公園健康運動センターの指定管理者候補者の選定結果について

(天野生涯学習課長) 続いて、報告事項4もあわせて説明させていただく。総合体育館と栗山公園健康運動センターについても同じく指定管理者候補者の選定を行っているのご説明する。市報等での公募までの流れについては、全く同様のスケジュールである。現地説明会を10月28日、それから30日に開催している。両日合わせて17者が参加している。同じく平成25年11月5日を期日として電子メール、またはファクシミリにより質問を受け付けて、11月11日にホームページ上で回答しているが、1点、清里山荘と違う点として、質問の中で、図面を見せてほしいというような質問が幾つかあったことから、平成25年11月12日から25年11月19日までが募集の受付期間だったが、それと同じ期間で図面を閲覧に供すということもやっている。その結果、申請については3者から受けた形になっている。その3者について、平成25年12月3日に書類選考を実施した。清里山荘のときには4者のうち3者に絞ったが、こちらは選定委員会のほうに諮ったときに、1次選考で3者に絞ろうということが前段で協議した結果としてあった。今回、申請を受けたのが3者だったので、書類に不備がなければ3者とも合格にしようというようなことになって、3者全てが合格となっている。ただし、その後、平成25年12月13日付で1者から辞退届けの提出があり、平成25年12月19日に第2次審査を行っているが、その際には残る2者でプレゼンテーションを行ったというような状況になっている。その結果として、TAC・FC東京・TGTS共同事業体、これは現行の指定管理者と同じところになる。こちらが候補者として選定されたということである。説明については以上である。

(中村議長) 選定委員会はどういうメンバーで構成されているのか。

(天野生涯学習課長) こちらは、企画政策課が所管になっている委員会であるが、中小企業診断士とか、会計士の方など、そういった形の学識経験者による委員会があって、そちらで諮っていただいた。

(中村議長) ということは、市役所の職員の方はその中に入っておられるのか。

(天野生涯学習課長) 説明員としてだけで、選定に当たっては参加していない。

(中村議長) 基本は外部の第三者による選定委員ということか。

(天野生涯学習課長) はい。それとあと、会社名を伏せた形で、提案内容により判断できるような協議をしていただいている。

(中村議長) 判断基準というのはいろいろあると思うが、見積もりの額もあるし、それから、従来の実績等もあつたらうが、清里山荘の現行のこれまでやっておられた業者の方が落ちたのは、何か瑕疵があつたということなのか。

(天野生涯学習課長) こちらは、一番大きかったのは、会社さんの資金繰りのタイミングにもよるのかなと思っているが、いわゆる会計のほうの専門家の目から見ると、安定性のところで、選ばれたところと比較するとやや劣っていたというような指摘は受けていた。

(中村議長) その企業の財務基盤がどうだということにちょっと難があつということか。

(天野生涯学習課長) 提案内容としてはすぐれているけれども、それが安定的にできるのかといったようなところで議論がされていた。

(中村議長) わかった。ありがとう。

(石田委員) 私は何人かから聞いていると、今の指定管理者はとてもいいという評価を利用した人から何人か聞いていたので、ちょっとそれは意外だった。

(中村議長) 私も同様に、2回ほど社会教育委員の研修で行かせていただいたが、非常に気持ちよく利用させていただいて、食事内容なんかもよかった。

(石田委員) よかった。

(中村議長) ちょっと残念な気がする。ただ、そういうご判断であれば、それはそう仕方ないと思う。この件で、ほかにご意見はないか。

(「なし」の声あり)

#### (5) 小金井市社会教育委員の設置に関する条例の改正について

(中村議長) では、報告事項5をお願いします。

(天野生涯学習課長) それでは、小金井市社会教育委員の設置に関する条例の改正について、ご報告をさせていただく。こちら、実際の具体的な内容としては現状と変わらないが、ただ、皆さんにかかわることなので、報告だけさせていただく。こちらは11月の教育委員会に諮った後、12月の市議会定例会で議決をいただいて改正された内容になっている。今回、お出しした資料については、議会に出した議案をそのまま出させていただいている。こちらの経過だが、平成25年6月14日に公布された地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律、いわゆる地域主権改革第3次一括法において、社会教育法の改正が行われている。委嘱の基準については、その際に当該地方公共団体の条例で定めることになっている。委嘱の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌して、地域の実情に応じ定めるものとされたところである。文部科学省令で定める参酌すべき基準についてだが、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験者のある者などの中から委嘱することとなっていて、改正前の社会教育法で規定されている内容と同じようなものになっている。本市については、文部科学省令で定める参酌すべき基準に加え、市民の自発的な社会教育活動への参加意識の高揚を図るとともに、より幅広く市民の皆さんの意見を取り入れるために、市民参加条例に基づき、公募による市民を基準に加えている。ただ、こちらはもともとあった



条例の中にも含まれていたことなので、実際には文言を整理したというような形で、選考の基準等は今までと同じ、実質的な変更はないというような改正になっている。

(中村議長) 特に大きな変更点はないということか。

(天野生涯学習課長) 内容そのものには、変更はない形になる。こちらは各自治体での条例の整備に要する期間を考慮して、平成26年4月1日が施行期日という形になっている。説明は以上である。

(中村議長) ありがとう。

(6) 平成26年成人の日記念行事について

(中村議長) 続いて、報告事項6をお願いします。

(天野生涯学習課長) 平成26年成人の日記念行事について、ご報告をさせていただきます。先日、開催した成人の日記念行事については、皆様お忙しい中、ご出席いただき、ありがとうございます。もう既にご承知のことではあるが、概要について簡単に報告をさせていただきます。会場については、新成人を中心とする実行委員会との協議の結果、昨年度と同様の小金井市民交流センターで実施をしている。この会場での実施も3回目となるので、これまでの経験を生かして、また、実行委員会に選ばれた新成人の方々の頑張り、それから関係機関並びに教育委員会職員等の協力をいただき、大きな事故もなく無事終えることができた。内容としては、前半が式典、後半が記念イベントという形で行って、式典については、開会の言葉、国歌斉唱、主催者挨拶、来賓祝辞、来賓紹介、新成人の言葉、閉会の言葉という順で行っている。また、後半については、小金井市指定の無形民俗文化財である貫井ばやしの演奏、こちらについてはメイン会場に入れなかった参加者にも配慮して、小ホールも含めて回っていただいている。続いて、FC東京の選手5名からのビデオメッセージの放映。こちらについては実行委員の新成人の方々がみずからインタビューと撮影を行ったものになる。そして、最後、抽選会という順番で行っている。今年の対象者としては、平成5年4月2日から平成6年4月1日生まれの方、男性639人、女性582人、合計1,221人となっていたが、参加者としては市内在住の男性が315人、女性が304人、合計619人。市外の方51人。これを含めると全体では670人のご参加をいただいている。参加率については、市内在住だけで算出すると50.7%で、分母は同じく市内になるが、市外も含めて仮に参加者を出すと54.87%ということで、ほぼ例年と同じような参加率になっている。こちらは、昨日の教育委員会でもご報告させていただいたが、その際、教育委員の方からも、非常にマナーのいい成人さんたちだったというような言葉をいただいた。また、新成人の実行委員会によってどんな形で作られたのかというようなご質問をいただき、私のほうから説明したところだが、今回、オープニングのところスライドショーを流したりとかしているが、あの辺ももともと市のほうとしては、単に音楽を流すだけのことを考えていたのを新成人の実行委員さんからのアイデアで、みずからつくったものを流させてほしいということの前日のリハーサルのときに持つ

てきていただいて流したというようなことがある。それから、先ほど説明でも申し上げたとおり、F C 東京さんの練習会場まで私も同伴したが、インタビューをしたり撮影を行ったりとか、抽選会の景品も新成人さんたちが選んで、実際に買いに行くところも新成人さんの手でやったというようなこともある。抽選会のときのやりとりについても、事務局のほうである程度台本は用意していたが、それとは別に、少しおもしろく盛り上げるようなせりふもまぜていただいたりとか、かなり具体的なアイデアを出してもらってやっていただいたと思っている。報告としては以上である。

(中村議長) ありがとうございます。一部の委員の方にご列席いただいたが、清水委員、ご感想はあるか。

(清水委員) 私も参加して、実行委員、女性ばかりだったのが、男性いないのかなというのがちょっと気になったが、非常にいい雰囲気できていたと思う。こきんちゃんが出てきて、市長の挨拶の横に立つと、かわいいというような声がかかって、あれもいい、こきんちゃんのPRになって、こういうマスコットがいるんだということをいろいろな方に知ってもらった。よかったんじゃないか。そんなふうにする。今、事務局からちょっと説明のあった市内在住と市外というのは、ちょっとそこは、私は認識が違っていただけなのか、市内の住民票をもっている方に全部連絡してご招待しているということではないのか。

(天野生涯学習課長) 招待しているのはそうだが、例えば子供のころに小金井市にいて、引っ越してしまった方が子供のころの友達と一緒に出席したいとか、あるいは現状、大学だったり、お勤め先が市外にあって、住民票をそちらに移している方などがこちらでの参加をご希望することがあるので、そういう方が市外という形である。

(清水委員) そういうことか。了解した。

(中村議長) ほかにご意見、ご感想はないか。

(石田委員) 協力団体としてソロプチミストで着付け直しをさせていただいて、何回かアナウンスで、着物が崩れた方は地下で直すということをお願いしたので、お母様とお嬢さんが全部緩んでしまったので直してくださいと地下に来た人もいて、私たちが裾が引きずれているような方を結構直したので、全部で20名から30名近く直していると思うが、どこの誰がやっているか、変なおばさんが来てということはないように、今年はたすきをかけてやった。感謝していただきながら、私たちも楽しんでさせていただきました。

(中村議長) ソロプチミストのほうで毎年、着付けのほう、ほんとうにありがとう。もう何年やっているか。

(石田委員) もう多分15、6年やっていると思う。昔の公会堂の時代からやっている。

(清水委員) 実行委員会はどういう形で構成したのか。どこかの大学の中で。

(天野生涯学習課長) ホームページ等で新成人の方等に募集をかけたが、そこでの応募はなく、小金井市子供会育成連合会のほうからご推薦いただいた方が最初男女1人

ずついて、その方の友達に集まっていたというような形になる。

(清水委員) 男性もいたのか。

(天野生涯学習課長) 男性1人、女性4人。昨年ときは全員女性だった。どちらかという、女性だけだと真面目な感じにおさまってしまうところが去年はあったが、その真面目な部分、いい意味で真面目に取り組んでいただいていたが、その部分は引き継ぎつつ、男性1人が入ったところで、抽選会のところをごらんいただいた方はわかると思うが、多少盛り上げる要素が入ったりとか、すごくいいバランスのメンバーだったと思う。

(中村議長) ありがとう。

(7) 第26回多摩郷土誌フェアの開催について

(中村議長) 続いて、報告事項7、お願いします。

(天野生涯学習課長) こちらは生涯学習課文化財係のほうでやっているイベントのご紹介である。多摩郷土誌フェアということで、こちらは、参加の市町が書いてあるが、これらの自治体が一堂に会して書籍の販売等を行うというような企画になっている。こちらは2月1日、2日、立川市女性総合センターアトムというところで行うので、もしご興味ある方はご来場いただければと思う。

(8) 第10回野川駅伝大会の開催について

(中村議長) では、続いて、報告事項8、野川駅伝。

(天野生涯学習課長) こちらは封筒に入っているものになる。今度の日曜日に開催する。1月19日、午前8時30分から午後1時30分という予定で、野川第二調節池という武蔵野公園の北側のあたりだが、そこを会場に毎年、行っているものである。こちらについても、ぜひ興味のある方はごらんいただければということで、ご案内になっている。以上である。

(9) 一般社団法人全国社会教育委員連合平成25年第2回総会議事録について

(中村議長) 続いて、報告事項9。

(天野生涯学習課長) 報告事項9、一般社団法人全国社会教育委員連合平成25年度第2回総会議事録というものが事務局のほうから送られてきた。これは参考にお配りするものであるので、ご一読いただければと思う。以上である。

(10) その他

(中村議長) 報告事項、最後のその他、あるか。

ア 貫井北町地域センターについて

(西田生涯学習部長) 簡単にだが、今、話題にも出ていた貫井北町の関係はどのように進捗しているかということだが、まず工事の関係だが、1月末竣工ということで、

もうごらんになられた方もいると思うが、建物は外から見てわかるような形になっている。4月から開設できるだろう。もう一つのほうは、運営のほうだが、こちらはご案内のとおり、8月にNPOのほうに任せるということに、設立総会を開いていただき、いろいろあったが、2月、3月ぐらいには認証もおきるだろうということになっていて、市のほうとしても援助をしており、1月からは正式に事務局長という方、事務局員という方も入るしというか、NPOのほうで選任をしていただき、その方々が4月に向けて準備を進めているところだ。具体的には、市も協力して、今度の4月、ちょうど今出たと思うが、4月からの人員募集ということで、1月15日号の市報でそういった職員の方の募集とか、そういったことも今行っているという状況になっていて、現在のところ、4月からオープンできるように最大限、市も協力しながらNPOのほうも頑張っている状況になっているということをご報告させていただく。以上だ。

(原嶋副議長) NPO法人というのは、どういう会か、法人なのか。名前は。

(西田生涯学習部長) 今はまだ法人格をとっていないが、NPO市民の図書館・公民館こがねいという団体を8月に設立総会を開いて立ち上げているということだ。

(原嶋副議長) では、まだインターネットでは検索できないね。

(西田生涯学習部長) まだ、そういうものはつくってないので。追い追い、多分NPOのほうでそういう人員も整えられて、そういうものもつくっていかうかなということで聞いている。

(中村議長) オープンは4月1日ということか。

(西田生涯学習部長) はい。4月1日オープンを目指している。あくまでも先の話なので、必ずやるというところまで言い切れるところではないので、NPOも、市も4月1日開設ということで、それを大前提に動いている状況だ。

(中村議長) あとNPOの認証だが、私はかなり都の基準が厳しいように思うが、2月か3月に、西田部長はおっしゃったが、大丈夫か。

(西田生涯学習部長) これもまだおりてないので、確定的、申しわけないが、今、いろいろ聞いている中では、ちょっと紆余曲折あったが、ちょっと法律上の問題で引っかかってしまったところがあって、それ以上のところは特になく聞いているので、順調に行けば2月ぐらいには、2月か3月には認証がおきるだろうという状況になっている。

(中村議長) ありがとう。

#### イ 放課後子どもプラン運営委員会について

(中村議長) では、その他で樹委員。

(樹委員) 放課後子どもプラン運営委員会のほうの報告をさせていただく。昨年だが、11月12日に開催され、各9校とも順調に今年の放課後子ども教室を運営しているという報告があった。1点、今、検討している事項があり、実は放課後子ども教室の

中で緑中学が1校だけ中学として放課後子ども教室をやっているということで、中学生の放課後子ども教室をどういうふうに考えていくのか、運営していくのかというようなことを今、運営委員会で検討をしている。来週の1月23日にまた運営委員会があり、そのことについて継続で検討してまいりますので、次の会議のときにまたご報告をさせていただきます。以上である。

(中村議長) ありがとう。

ウ 図書館協議会について

(中村議長) 石田委員、図書館協議会のほうはあるか。

(石田委員) 特に今のところ、報告事項はない。

エ 今後のスケジュールについて

(中村議長) あと、ちょっと今後のスケジュール。

(石田委員) 済まない。先取りしているかもしれない。今後のスケジュールで、11月21日が第45回の関東甲信越静の大会と重なっている、社会教育委員と図書館協議会と公民館運営審議会の3者会議の予定日と。11月21日が3者会議の予定日になっていると思うが、この大会の2日目と重なっている。まだ早過ぎるが、早く検討していただかないと。

(天野生涯学習課長) ここは多分事務局としても落ちていた。今後、そこはちょっと検討しないといけない。

(石田委員) はい。

(西田生涯学習部長) ちょっと調整ということで。

(石田委員) それを知っていただければ、ご検討していただければよい。

(天野生涯学習課長) わかった。ありがとう。

(中村議長) もしかぶっているようだったら、日にちをちょっとずらしていただくような形でことも検討していただいて、ほかの委員会、審議会のほうにもご連絡をよろしく願います。

(天野生涯学習課長) はい。

オ 次回の本会議について

(中村議長) 次回の本会議の確認だが、2月19日、大丈夫か。2月19日の9時半、ここの801会議室。

(天野生涯学習課長) はい。9時半、801である。

(中村議長) 特にほかにご意見なければ、ちょっと早いですが今日はこのあたりで会議を閉じさせていただきます。

以上